心をひとつに・・・山元町における後方支援



(特活)ADRA Japan(アドラ・ジャパン) 国内事業担当 やまもと復興応援センター 副センター長渡辺日出夫

ADRA(アドラ)とは・・・



ADRAは、キリスト教精神を基盤とし、世界約120カ国に支部を持ち、国連などと協働している国際的な支援団体(国際NGO)です。また、国連諮問機関としても国連会議などにも参加しています。

ADRA Japanは、各国ADRA支部(約120カ国)とパートナーシップを築きつつ「人間としての尊厳の回復と維持」を実現するために人種・宗教・政治の区別なく世界各地で国際協力活動を行なっています。

また、阪神淡路大震災以降、国内での防災啓発及び災害支援活動を行なっています。

ADRAの被災地支援のテーマ

主役は「被災地の住民や組織」 ADRAは「黒子であり、脇役」

基本は被災地の二一ズに基づき支援を行ないますが、自立を阻害するおそれがあることについては支援をさし控える場合もあります。

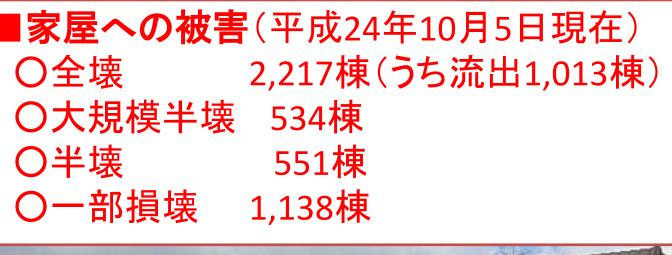




〇推定浸水域にかかる人口 8,990人

(平成23年2月末現在人口の53.8%)

〇推定浸水域にかかる世帯数 2,913世帯 (平成23年2月末現在世帯数の52.4%)









支援物資は届くが 支援者がいない

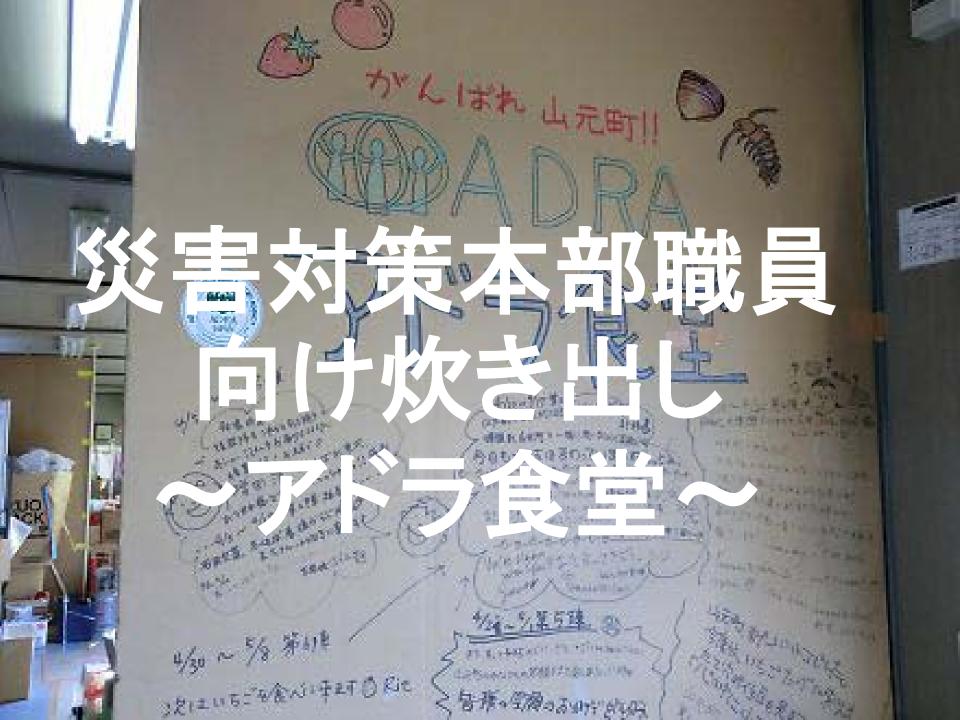
町・社協の 本業務が 出来ていない

支援団体がいろいろと支援をすることは比較的容易

しかし、いつも悩むのが支援の引き際と地元へ の引き継ぎ

で、あれば・・・

地元団体の運営支援をしつつ、地元人材の育成をしていく後方支援をすれば良いのでは?



食堂の目的

山元町役場、山元町社会福祉協議会に 復旧業務に専念してもらうことで、被災者 支援をスムーズにするための後方支援



黒子に徹する









喫食数

	朝食	昼食	夕食	配達	小計
4月	789	2,918	1,367	628	5,702
5月	398	1,602	439	528	2,967
6月	448	1,248	423	238	2,357
7月	300	868	245	0	1,413
	1,935	6,636	2,474	1,394	12,439

とろさんまとキャベツの煮付け、こごみのおひたし、五目豆



くある日の朝食>

クレソン、トマトのマリネ、ほうれん草の胡麻あえ



フルーツポンチ

くある日の昼食>

ほうれん草のおひたし、白菜ののり和え、肉じゃが(グルテン)



くある日の夕食>

職員さんの声

「食堂ができるまではほぼ毎日カップ麺とおにぎりだけだったので、助かりました。」(女性職員)

「おかげで良い仕事ができました。体調管理が大切なので、助かった。」(男性職員)

「メニューも工夫されていて良かったです。グルテン(大豆タンパク)の焼肉がインパクト大でした!」(男性職員)

「野菜がとれたのが嬉しかった」(女性職員)

「疲れてADRA食堂に来るとほっとする。癒されました。」(男性職員)



平均 200個/日

やまもと復興応援 センターの 立ち上げと運営支援

組織図

【山元町応急仮設住宅等連絡会】一毎月開催

副町長、保健福祉課、総務課、まちづくり整備課、 地域包括支援センター、民生委員協議会、警察署、 消防署、仮設住宅住民代表8名、社会福祉協議会

やまもと復興応援センター

ボランティア班

生活支援班

地域(在宅)

仮設住宅

寄り添い活動、コミュニティ・つながりづくりなど 支援団体の調整及び活動の実施

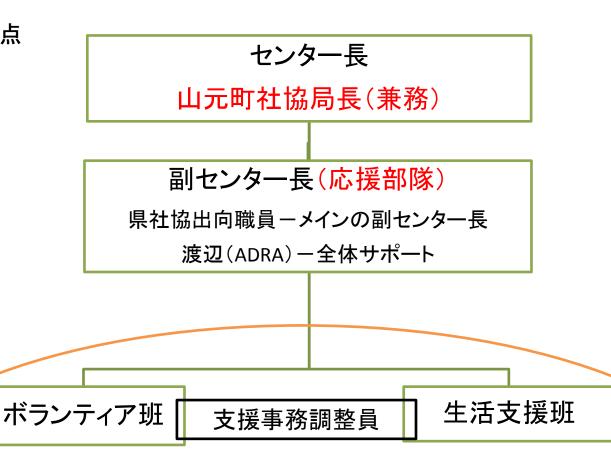
山元町方式の仮設支援体制構築

やまもと復興応援センターは町からの業務委託をうけて山元町社協が運営しており、「山元町心急仮設住宅等連絡会」で決定される方針に基づき、活動を行なっている。

早期から

- •仮設住宅支援活動ルール
- ・仮設住宅有償支援ガイドラインなどを策定し、仮設住民に自立を促している

事務局組織図 2012年10月時点



町社協正規職員 1名(主任生活支援相談員) 町社協正規職員 0.5名(ボランティア班担当・法人事務局兼務) 臨 時 職 員 15名

(ボランティア班1名、支援事務調整2名、生活支援相談員12名)

山元町後方支援の動き

2011年4月 ~7月	町災対本部職員向け炊き出し支援 ~アドラ食堂の運営~
8月~11月	社協災害ボランティアセンター運営支援
10月	やまもと復興応援センター運営支援 (副センター長、支援事務調整員を派遣) 生活支援相談員(13名)の育成開始
12月	支援事務調整員(臨時職員)を社協で雇用 支援事務調整員(1名)の育成開始
2012年4月	社協災害ボランティアセンターを やまもと復興応援センターボランティア班として再編

2012年4月	副センター長を事実上2名体制に変更(組織図上3名) 県社協出向職員をメインとして、社協にノウハウの 引き継ぎを開始
2012年5月	町社協がやまもと復興応援センター専任職員を採用(8月までは法人事務局勤務)
2012年9月	やまもと復興応援センターに専従の町社協正規職員(主任生活支援相談員)を配置 生活支援相談員のとりまとめ役を町社協で担う
	支援事務調整員を2名体制に変更し、支援調整が できる職員を増やすことを開始
2013年1月	主任生活支援相談員が支援調整の仕事を覚える
2013年4月	町社協を中心にセンター運営ができるようになり、 ADRAの運営支援も一歩後退する(?)

心をひとつに・・



